

始めましょう

# 節電生活

詳細 環境保全課 ☎ 36-8801

全国的な電力不足が懸念されるなか、北海道においても夏期の節電が必要であると発表されています。今回の特集では、環境にも家計にもやさしい「節電生活」を送るための大切なポイントをご紹介します。節電について家族みんなで考えて、一人ひとりができることから始めていきましょう！

## どうして節電をしなくてはいけないの？

経済産業省によると、泊原子力発電所の停止などによる電力供給量の低下から、今夏の北海道においても電力不足が予想されています。急な停電などの発生を避けるために、夏期の一定期間、北海道内の各家庭や事業所において節電を要請するとの発表がありました。

★道内家庭に要請された節電

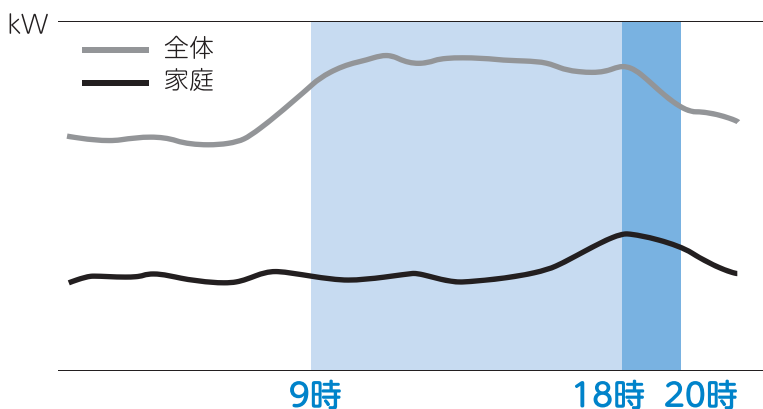
# 7%以上

(平成22年度比)

## 一日の中でいつ節電をしたらいいの？

夏の北海道における平日の電気使用量は、日中から夕方にかけての長い時間帯にピークが継続することが特徴です。その中で家庭の電気消費量は、夕方から夜にかけての数時間が多くなる傾向があります。

夏の平日における電気の使用量 (イメージ) 【資源エネルギー庁推計】



### えこまる ひとくちメモ



家庭の電気量は、暗くなってきて明かりが必要になる「夕方」から、家族が帰ってきてご飯を食べる「夜」に増えていくんだね。

みんなで一緒に夕食を食べたり、一つの部屋に集まって過ごしたりすることも、節電につながる大切なことだよ！

このため経済産業省では北海道管内に対して、電気使用量全体のピーク時である **9時～20時** に、7%以上の節電を呼びかけています。特に家庭では、**18時～20時** の節電が効果的です。